

キャラクター名  
結城 刹那(コヰ セツナ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	カラオケ店店長
	エグザイル					
オプション			年齢	23	性別	男
覚醒	渴望	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	裏切った	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	1	1	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
燃える氷"メカハイト"レート"		0	23	0		《氷盾》《灼熱の結界》
└侵蝕率80%以上		0	30	0		《氷盾》《灼熱の結界》
└侵蝕率100%以上		0	37	0		《氷盾》《灼熱の結界》
└侵蝕率150%以上		0	44	0		《氷盾》《灼熱の結界》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:起源種"カガナルカイト" P		N		
保護者:霧谷 雄吾(仲介:コヰ) 色:RE P 尽力		N 恐怖		
御影 隼人(ミカゲ ハヤト) 色:WH P 守るから		Nすみませんねえ		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
崩れずの群れ	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	加ダメージを行う メイン 1回							
命のカーテン	3	4	オート	至近	自身	自動	★	
効果:	加ダメージ 距離+10m シリアLV回							
守護者の巨壁	1	6	オート	視界	効果参照	自動	★	
効果:	攻撃対象を単体・自身に シリア1回							
氷雪の守護	3	3	オート	至近	自身	自動	★	
効果:	HPダメージ-[LV+1]D ラウンド 1回							
ダイヤモンドダスト	1	3	オート	至近	自身	自動	★	
効果:	氷雪の守護のダメージ減少さらに-3D							
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+[LV*5]							
灼熱の結界	4	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+[LV*2]							
エネルギーシールド	1	5	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	ガード・リアクション不可でもガード可 シリア1回							
異形の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	重圧可 暴走以外のBSをLV個回復 ラウンド1回							
鍵いらすの歩み	★	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	ドアの隙間等を通り抜ける							
快適室温	★	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	快適に過ごせるよう温度調整する							
効果:								
効果:								
効果:								

H市にて支部長を任されている青年。自身に対する評価が低い所為か、若干やる気のないような言動が多いがやることはやっている。気弱で押しに弱い。だが、支部を任されている自覚はあるらしく、その時は「守る」という意志の強さを見せる。普段は支部兼カラオケ店の裏で監視カメラの確認や事務作業をしている。カラオケ店は繁華街の路地を一本入ったところあり、人があまり来ない為、学生たちには穴場として重宝されている、らしい。

裕福な家の、大勢いる兄弟の中の一人として生を享ける。上の兄弟も下の兄弟も何かに秀でていた中、自身だけ不変普通としていて誰からにも興味を持たれなかった(彼の自信喪失にはこのことが関係している)。そんなある日、原因不明の火災が発生。その際、「家族を守りたい」と願った事より覚醒。能力を駆使して家族を守ったが、その化け物じみた力が誤解を招き家に火を放った犯人にされ、家を追い出される。その時彼が思ったのは「家族を裏切ってしまった」という感情だけ。行き場などどこにもなくただ街角で座り込んでいた所を霧谷に手を差し伸べられ、UGNIに所属することに。自身を拾ってくれた恩人とも呼べる霧谷の理想を叶えるべく、命を賭してでも守ろうと心に決めている。  
なぜこんな自分が支部長に任命されたのか、てんで分からないでいる。